

堺にすむいきものや彼らのすみかのことをどのくらい知っていますか？

堺市の生物多様性にふれる冊子

のぞいてみよう  
堺市の生物多様性

堺いさものの通信

2021冬号

12月～2月に堺市内で見られる！

# 堺にすむ

# いきものたちの



ウスタビガ (菌)



オオイヌノフグリ



キタテハ

ここでご紹介する写真はすべて堺市内で撮影された写真です！  
Webサイト「堺いきもの情報館」に、市民の方などからご投稿いただきました。  
個性豊かないきものたちや彼らのすみかを見て・知って、  
**生物多様性**を感じてみてください。



キレンジャク



ムラサキツバメ



ニホンヤモリ



ジョウビタキ

## 生物多様性とは——

すべての生物の間に違いがあること

たくさんの個性豊かないきものたちが、**つながり**をもって生きています。



ツルウメモドキ



オオキンカメムシ



堺市の生物多様性を知るには「堺にはいろいろないきものがいて、いろんすすみかがある」と知るところから！

いき

# もの知りになろう！

～いきものからヒントを得た500系新幹線～



写真の鳥は「カワセミ」といいます。長くて大きくくちばしを持ち、勢いよく水中へダイブして主食の小魚を捕らえます。少ない水しぶきで水中にもぐることができ、この特徴は、1997年にデビューした**500系新幹線の開発**に活かされています。500系の先頭車のフォルムは、カワセミのくちばしの形状とよく似ています。走行時の空気抵抗を軽減させる**ヒント**は、カワセミのくちばしの形状にあったのです。

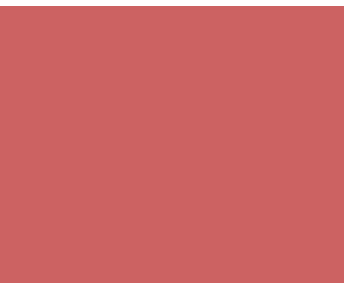
いきものの優れた機能から得られるヒントを活かした技術のことを「**生物模倣技術**（せいぶつもほうぎじゅつ）」といいます。500系新幹線には別のいきものの特徴も活かされていますので、気になった人は調べてみてください。



メジロ



ミコアイサ



ツグミ



アトリ

## いきものたちのすみか

### いきものたちはどこにすんでいるのか？

ここでご紹介する多くの写真にはいきものの姿だけでなく、様々な自然環境が写りこんでいます。彼らのすみかは多種多様です。

堺市内には草地のある公園やため池、河川、木々がしげる古墳や南部丘陵などといったいきものたちのすみかがたくさん存在します。みなさんの身近な場所にあるすみかにもいろいろないきものたちがすんでいるはずです。

このように様々なすみかがあることを生物多様性の一つである「生態系の多様性」といいます。

**生物多様性とは身近なものなんですよ！**



ヒレンジャク



タヌキ

いき  
もっと もの知りになれる！

# 生物多様性のおはなし

生物多様性を脅かす4つの危機要因のうち、1つ目は「開発など人間活動による危機」であると前号でお伝えしました。今回は2つ目、第2の危機についてのおはなしです。

第2の危機とは、「自然に対する働きかけの縮小による危機」のことです。具体的には「里地里山の管理・利用の減少」や「野生生物の直接的利用の減少」が要因として挙げられています。第1の危機は自然への過度な干渉だとされていますが、第2の危機は自然への干渉の過少さだとされています。双方は対照的な内容ですが、総じて「生物多様性が豊かであるには、自然への適度な干渉が必要である」と言えます。それでは、第2の危機が起こる背景について、少し掘り下げて見てみましょう。

時代の流れとは非常に目まぐるしいものです。インフラの整備や技術の進歩により、社会はどんどん豊かになり、人の動きも活発になっていきます。一部の生き物や彼らのすみかはその流れに巻き込まれ、次第に減少してきました。その一方で、身近な自然の管理や狩りの機会などが減少したことで、放置されたすみかは荒地となり、絶滅の危機に瀕する生き物の増加や、増えすぎた野生生物による生態系や農林業への被害が発生しています。

古くから自然と関わり合いながら生活を営んできた人間は、雑木林や水田を管理・利用し、時には山に入って獲物をしとめるなどして、食料や燃料といった資源を持続的に利用してきました。しかし、化石燃料の普及や各種技術の進歩、衣食住文化のグローバル化や少子高齢化などにより、徐々に身近な自然の資源を利用しなくなりました。結果、必要とされなくなった自然や野生生物は、少しずつ多様性のバランスを崩していきます。雑木林は竹藪に姿を変え、狩られなくなった野生生物は次々と増加したのです。また、里山の管理者や狩りの担い手も少なくなり、一層手が及ばなくなってきたため、今日、警鐘がならされているというわけです。

生物多様性の損失は、時代の変化によるマイナスの影響を受けたものの一つともいえるでしょう。人間が与えている影響だからこそ、私たちが責任をもって積極的に自然と関わり、生物多様性を守っていくための行動を起こすことが大切です。

参考文献：宮下直、瀧本岳、鈴木牧、佐野光彦著『生物多様性概論「自然のしくみと社会のとらえ」』朝倉書店、2017-3-10

鷲谷いづみ「絵でわかる生物多様性」講談社、2017-9-20

環境省生物多様性ウェブサイト。「次期生物多様性国家戦略の策定に向けて」<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/>（参照2021-11-12）

環境省 自然環境局 野生生物課 鳥獣保護管理室「いま、獲らなければならない理由（わけ）ー共に生きるためにー」2021年3月、p8（パンフレット）



堺市の生物多様性を考えるWEBサイト

《編集・発行》

堺市環境局 環境保全部 環境共生課

TEL：072-228-7440 / FAX：072-228-7317

E-mail：kankyo@city.sakai.lg.jp



Webサイト  
トップページ

ユーザーネーム  
sakai\_ikimono



Instagram  
アカウント